

日本循環器学会認定
循環器専門医研修カリキュラム
1999年(第2回改定)

このカリキュラムは、日本循環器学会認定循環器専門医となるための研修内容の一つであり、そのための達成目標となるものである。

また、このカリキュラムは日本内科学会認定内科専門医制度研修カリキュラムを達成していることを前提とする。達成目標は次表のように、A、B、C、Dの4段階に分ける。

達成目標	検査, 治療法	病態および疾患各論
A	独立して, 施行または判定できる.	主治医として経験する.
B	指導者のもとで, 施行または判定できる.	指導者のもとで経験する.
C	施行できない場合, 見学する.	経験がない場合, 見学する.
D	経験しなくても十分な知識を有する.	経験しなくても十分な知識を有する.

I. 検査法

1. 身体所見(聴診等) A
2. X線診断 A
 - a. 胸部X線単純撮影(心臓4方向) A
 - b. 心血管造影 B
 - 1) 心房・心室造影 B
 - 2) 大動脈造影 B
 - 3) 冠動脈造影 B
 - 4) 末梢血管造影(動脈, 静脈, リンパ管) B
 - 5) DSA (digital subtraction angiography) B
 - c. X線CT (computerized tomography) B
3. 心電図 B
 - a. 標準12誘導心電図 A
 - b. 運動負荷心電図 A
 - c. Holter 心電図 A
 - d. ベクトル心電図 C
 - e. 体表面電位図 C
 - f. 微小電位 C
 - g. 心臓電気生理学的検査 B
4. 心音・心機図 C
 - a. 心音図 B
 - b. 心尖拍動図 B
 - c. 動・静脈波 B
5. 心エコー図 A
 - a. Mモード・断層心エコー図 A
 - b. ドブラ心エコー図 A
 - c. 経食道心エコー図 B
 - d. 負荷心エコー図 D
6. カテーテル検査 A
 - a. Swan-Ganz カテーテル検査 A
 - b. 心(左・右)カテーテル検査 B
 - c. 心筋生検 C
 - d. 血管内視鏡 D
 - e. 血管内エコー D
7. 心拍出量 A
8. 循環血液量 D
9. 循環時間 D
10. 動・静脈圧(モニタ) A
11. 心臓核医学検査 B
 - a. 心筋血流シンチ B
 - b. 心筋代謝シンチ D
 - c. 心プールシンチ D
 - d. 肺シンチ D
 - e. ポジトロンCT D
12. MRI (magnetic resonance imaging) C
13. 高血圧検査

- a. 眼底検査 A
- b. 腎盂造影 B
- c. レノグラフィ, レノシンチグラフィ C
- d. 胃・副腎静脈カテーテル検査 B
- e. 腎動脈造影 B
- f. 24時間血圧測定 B
14. 運動負荷呼気ガス分析 D

II. 治療法

1. 一般の事項 A
 - a. 薬物動態・血中濃度 A
 - b. 薬物効果・副作用 A
 - c. 食事療法 A
 - d. リハビリテーション・運動療法 A
 - e. 手術適応 A
2. 救急処置 A
 - a. 心肺蘇生術(気管内挿管) A
 - b. 除細動 A
 - c. 心膜穿刺術 A
 - d. 一時的な心臓ペースング A
 - e. 大動脈内バルーンパンピング(IABP) B
3. 薬物治療 A
 - a. 強心薬 A
 - b. 利尿薬 A
 - c. 抗不整脈薬 A
 - d. 血管拡張薬 A
 - e. 降圧薬 A
 - f. 昇圧薬 A
 - g. 自律神経薬 A
 - h. 抗凝血薬・抗血小板薬 A
 - i. 血栓溶解薬 A
 - j. 脂質代謝改善薬 A
 - k. 抗生物質 A
4. ペースメーカー植え込み B
5. 冠動脈内注入血栓溶解療法 B
6. 経皮経管冠動脈形成術(PTCA; new deviceを含む) C
7. 経皮経管血管形成術(PTA) D
8. バルーン弁形成術 D
9. 血液透析・腹膜透析 B
10. カテーテルアブレーション C
11. コイルによる血管閉塞治療(動脈管, 側副血管) D
12. 補助循環 D
13. 心臓手術 C
 - a. 冠動脈バイパス手術 C
 - b. 弁置換術 C
 - c. 大動脈グラフト術 C
 - d. 心臓移植 D

Ⅲ. 病態・疾患各論

1. 心不全			
a. 右心不全	A		
b. 左心不全	A		
c. 両心不全	A		
2. ショック			
a. 心原性ショック	A		
b. 神経原性ショック	A		
c. 出血性ショック	A		
d. 細菌性ショック	B		
3. 不整脈			
a. 頻脈性不整脈			
1) 期外収縮(上室・心室)	A		
2) 頻拍(上室・心室)	A		
3) 心房粗・細動	A		
4) 心室粗・細動	A		
b. 徐脈性不整脈			
1) 洞不全症候群	A		
2) 房室ブロック	A		
c. 心室内伝導異常			
1) 脚ブロック	A		
2) 三枝ブロック・分枝ブロック	A		
3) WPW症候群	A		
d. その他			
1) Adams-Stokes 症候群	A		
2) QT延長症候群	B		
3) 人工ペースメーカーに伴う不整脈	B		
4) 不整脈原性右室異形成	C		
5) 特発性心室細動	D		
4. 心臓性急死	D		
5. 血圧異常			
a. 本態性高血圧症	A		
b. 二次性高血圧症	A		
1) 腎性(腎血管性を含む)高血圧症	A		
2) 内分泌性高血圧症	A		
c. 低血圧症	A		
d. 起立性低血圧症(Shy-Drager 症候群を含む)	A		
6. 虚血性心疾患			
a. 労作性(安定)狭心症	A		
b. 不安定狭心症・異型狭心症	A		
c. 心筋梗塞(急性, 陳旧性)	A		
d. 心筋梗塞に伴う合併症			
1) 心室瘤	B		
2) 心破裂	B		
3) 心室中隔穿孔	B		
4) 心筋梗塞後症候群	C		
e. 無痛性虚血性心疾患	A		
f. 川崎病	D		
7. 弁膜疾患			
a. リウマチ性弁膜疾患			
1) 僧帽弁狭窄症	A		
2) 僧帽弁閉鎖不全症	A		
3) 大動脈弁狭窄症	A		
4) 大動脈弁閉鎖不全症	A		
5) 肺動脈弁閉鎖不全症	C		
6) 三尖弁狭窄症	C		
7) 三尖弁閉鎖不全症	A		
8) 連合弁膜症	A		
b. 非リウマチ性弁膜疾患			
1) 僧帽弁逸脱症候群	A		
2) 乳頭筋機能不全症候群	A		
3) 僧帽弁腱索断裂	A		
8. 心筋疾患			
a. 心筋炎	A		
b. 心筋症			
1) 肥大型心筋症	A		
2) 拡張型心筋症	A		
3) 拘束型心筋症	D		
c. 特定心筋疾患			
1) アミロイドーシス	C		
2) サルコイドーシス	C		
3) 筋ジストロフィ症	C		
4) その他	D		
9. 感染性心内膜炎	A		
10. リウマチ熱	C		
11. 心膜疾患			
a. 急性心膜炎	A		
b. 収縮性心膜炎	A		
c. 心タンポナーデ	B		
d. 心膜欠損症	D		
12. 心臓腫瘍			
a. 粘液腫	B		
b. 肉腫	D		
c. 転移性心臓腫瘍	D		
d. その他	D		
13. 肺性心疾患			
a. 肺塞栓症	A		
b. 慢性肺性心	A		
c. 原発性肺高血圧症	B		
14. 先天性心血管奇形			
a. 心房中隔欠損症	A		
b. 心内膜床欠損症	A		
c. 心室中隔欠損症	A		
d. Eisenmenger 症候群	A		
e. 肺動脈狹窄症	A		
f. Fallot 四徴症	A		
g. 動脈管開存症	A		
h. Ebstein 奇形	B		
i. 三尖弁閉鎖症	C		
j. 大動脈縮窄症	A		
k. 肺静脈還流異常症	C		
l. 冠動脈奇形	C		
m. Valsalva 洞動脈瘤	C		
n. 肺動静脈瘻	C		
o. 大血管転位症	C		
p. 両大血管右室起始症	C		
q. 総動脈幹症	C		
r. その他	D		
15. 全身疾患に伴う心血管異常			
a. 甲状腺機能亢進症	A		
b. 甲状腺機能低下症	A		
c. 腎不全(急性・慢性)	A		
d. 糖尿病	A		
e. 血液疾患	A		
f. 脂質代謝異常	A		
g. 膠原病	A		
h. 梅毒	D		
i. 栄養障害	D		
j. 中毒性心筋障害	C		
16. 大動脈疾患			
a. 大動脈瘤	A		
b. 大動脈解離	A		
c. 大動脈炎症候群(高安病)	C		
d. 大動脈弁輪拡張症(Marfan 症候群を含む)	B		
17. 脳血管障害(脳出血, 脳梗塞, 脳塞栓)	A		
18. 末梢動脈疾患			
a. 動脈硬化症	A		
b. 動脈瘤	A		
c. 急性動脈閉塞症(血栓・塞栓)	A		
d. 閉塞性動脈硬化症	A		
e. 閉塞性血栓血管炎(Buerger 病)	B		
f. Raynaud 症候群	A		
19. 静脈・リンパ管疾患			
a. 上大静脈症候群	A		
b. 血栓性静脈炎・静脈血栓症	A		
c. 静脈瘤	A		
d. リンパ管炎・リンパ浮腫	C		
20. 心臓神経症・神経循環無力症	A		